

鹿児島県の家きん農場で 高病原性鳥インフルエンザが続発！！

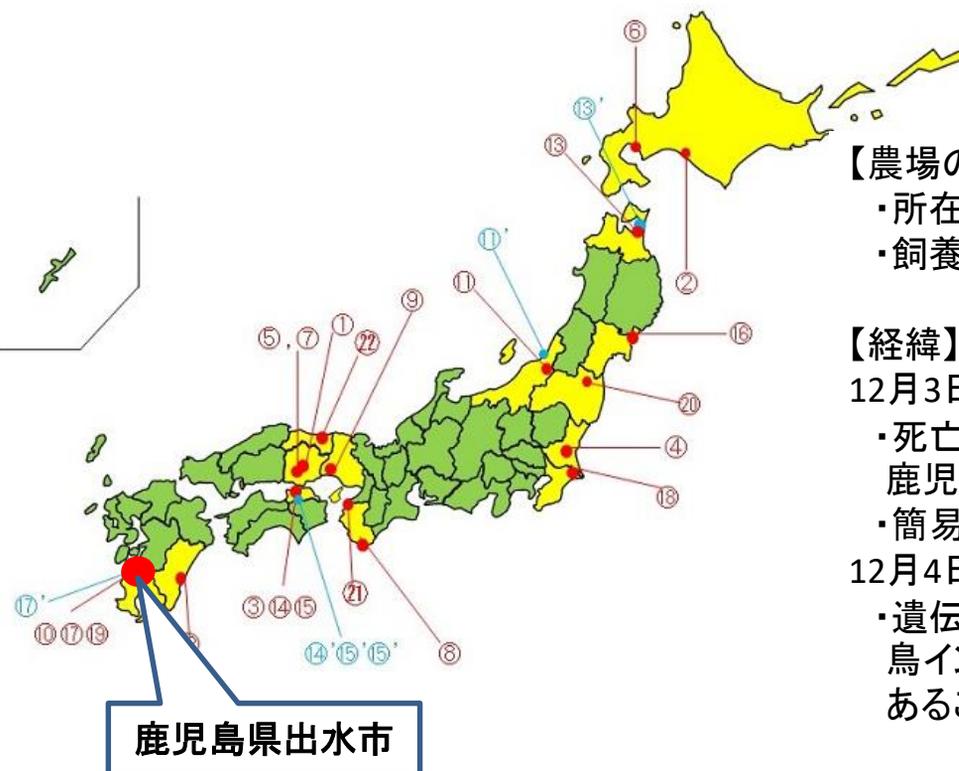
12月4日、鹿児島県出水市の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜が確認されました。

国内の農場や家きん飼養施設におけるHPAIの発生は今シーズン24例目、鹿児島県での発生は5例目となります。

また、野鳥で81例(1道13県)、飼養鳥で2例、HPAIウイルス陽性が確認されています(12月2日現在)。

鶏などの家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策と異常発見時の早期通報をお願いします。

今シーズンのHPAI発生状況



【農場の概要】

- ・所在地 鹿児島県出水市
- ・飼養羽数 約3.4万羽(採卵鶏)

【経緯】

12月3日(土)

- ・死亡羽数増加の報告を受け、鹿児島県が農場に立入検査
- ・簡易検査を実施し、陽性を確認

12月4日(日)

- ・遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認